

上田仮説サークルニュース		3月例会	2017.03号
編集責任 遠藤 裕		発行2017.4.22	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サカガーデン中野 B-G TEL 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115			
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 長野工業高校 TEL 026-227-8555			

3月18(土) 上田中央公民館 2F第1会議室



午後 3:00 ~ 9:30

参加者数 7名

資料総ページ 119 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 北村秀夫さん, 北村知子さん,
大塚浩文さん, 池田みち子さん, 遠藤裕

はじめに 3月例会の参加者は7名。

レポートは、柳沢さんから4本、増田さんから2本、秀夫さんから1本の合計7本の発表。総ページ数は119ページで、前回と同様に内容の濃い発表がありました。

柳沢さんは、読書メモで『日本人のためのイスラム原論』の一冊について重要な部分の要約、「トイレ掃除は運気を上げるか」の分析、「電光石花のチョークアート」の紹介。このレポートは、研究会ニュース、『たのしい授業』に掲載され、信濃毎日新聞で紹介されました。とてもすばらしいです。また、授業で生徒さんに読んでもらったという「**牧衷略伝—その生きた時代**」(研究会ニュース、重弘忠晴さん)の紹介。

増田さんの<今月の本紹介16>は56ページあります。『キリスト教入門』(山我哲雄著)の紹介で、一神教のユダヤ教からキリスト教がどのように分離独立したか設問形式で理解を深める内容です。そして、この本をもとに作成した年図の紹介。

秀夫さんは、随筆「浅間のほとり千曲のふもと」。しばらくお休みしていましたが、ついに復活しました。今後も大いに楽しみです。

終了後、「大戸屋」で夕食会。(このところ大戸屋が定番。)

1. 発表資料

① サークルニュース 2月例会 遠藤 裕 (14ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 1月例会 遠藤 裕 (10ペ)
- ② 読書メモ2017年2月号 柳沢克央さん (20ペ)

—山田由美子著『原初バブルと《メサイア》伝説』(世界思想社)ほか—

- ③ 新聞記事（切り抜き）の紹介 柳沢克央さん（B 4 8 ペ）
「学習指導要領改定案」についての新聞記事の紹介。
- ④ 「アクティブラーニング」は戯言^{たわごと}または喃語^{なんご}に過ぎない 柳沢克央さん（1 ペ）
柳沢さんの「アクティブラーニング」についての批判文章。
- ⑤ 紹介：幕末に見る立憲主義の芽生え 朝日新聞編集委員 国分高史
柳沢克央さん（1 ペ）
朝日新聞の記事(2017.2.12)の紹介。
- ⑥ <今月の本紹介14> 増田伸夫さん(4 4 ペ)
要約：パラダイム転換が唯一神教をもたらした
- ⑦ <古代イスラエル人の信仰の歴史>年図 増田伸夫さん（1 ペ）
山我哲雄『一神教の起源』をもとに増田さんが作成した年図の紹介。
- ⑧ <古代地中海世界の宗教>年図 増田伸夫さん（1 ペ）
『多神教と一神教』（岩波新書）をもとに増田さんが作成した年図の紹介。
- ⑨ クリスマス特別授業《しゅぼしゅぼ》について 渡辺規夫さん（4 ペ）
感想・要望・意見
専門学校での1年生におこなった授業の感想・評価。
- ⑩ 《不思議な石 石灰石》授業アンケート集計結果 渡辺規夫さん(8 ペ)
不思議な石 石灰石 授業アンケート
授業評価の考察と生徒さんの授業の要約，感想の紹介
- ⑪ 物理の授業について アンケート集計 渡辺規夫さん（2 ペ）
私立高校3年生の物理選択者におこなった物理の授業アンケートの集計。
- ⑫ 専門学校生と仮説実験授業 渡辺規夫さん（1 6 ペ）
科学大嫌いから科学大好きへ
- ⑬ 化学Ⅱ試験問題 渡辺規夫さん（2 ペ）
専門学校での科学Ⅱのテスト問題の紹介。
- ⑭ <牧：今月のお話9> 楽，正，早，安 増田伸夫さん(8 ペ)
－ 管理はやる気を起こさせるための手段 －
牧衷さんの講演記録集より

2. もの作り講座

<おだんごパズル> 講師：高見沢一男さん

② 読書メモ2017年3月号 柳沢克央さん（2 4 ペ）

－ 小室直樹著『日本人のためのイスラム原論』（集英社インターナショナル）のみ －

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめに

先月号の「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく（適当に）おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。（私物）と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

◇読書記録または読書メモ（順不同）

◎小室直樹著『日本人のためのイスラム原論』（集英社インターナショナル・2002年）（私物）

<本書の構成>は次のとおり。

第一章 イスラムが分かれば、宗教が分かる

第一節 アッラーは「規範」を与えたもうた

第二節 「日本教」に規範なし

第二章 イスラムの「論理」、キリスト教の「病理」

第一節 「一神教」の系譜

第二節 予定説と宿命論

第三節 「殉教」の世界史

第三章 欧米とイスラム—なぜ、かくも対立するのか

第一節 「十字軍コンプレックス」を解剖する

第二節 苦悩する現代イスラム

◇まとめ・つぶやき

大相撲の小結・御嶽海が強いのは仮説・実験しているかららしい。NHKのローカル番組の御嶽海特集を見て感じた。スポーツ選手がコーチなどの立場にある人のアドバイスを①受け入れる。②聞き流す。その結果として、③うまくいく。④うまくいかない。の組み合わせが4通りあり、その違いがどこから生まれるかがわからないという趣旨のことを前回のメモに書いた。それから、ずっと気になっていたが、この番組を見て結局、「仮説・実験をしているか、していないか」ということで差がつくのではないかと感じた。本人がある問題について「仮説」や「問題意識」を持っていれば、彼（彼女）の選択には必然性が生まれて、「実験」ができ、「問題が解決する」（または「向上する」）、「仮説」や「問題意識」がなければ「実験」にはならないから、いつまでたってもフラフラで問題は解決しないままになる・・・ということなのだと思う。

（柳沢さんは、次回以降の予告リスト21冊も載せています。今回は一冊で23ページ分あり、何回か読み直して内容を理解したいと思います。 エドワ）

③ トイレ掃除は運気を上げるか 柳沢克央さん （2ペ）

－『ホステス心得帖』（北新地社交料飲協会）の紹介－

「トイレ掃除」の分析と実践してみた結果の紹介。

「トイレ掃除をすると運気が上がる」という話があることはずっと前から気になっていた。

最近、なんとなく「やってみよう」と思い、やってみたら色々な事がわかった（…ような気がする）。私の結論は「効果があるだろうと思ってやると効果がある。効果がなにかもしれないと思ってやってもやはり効果がある」である。重要なのはとにかく「やってみる」こと。つまりは「すべては気の持ちよう」ということだと思う。

*

「たかが清掃，されど清掃」である。でも，私は「トイレには神様がいる」と信じるほど純情可憐ではなくなってしまった。ただ，「トイレに神様がいる」のと同じ結果が出たように感じられることはある，ということはこの中に記しておきたい。神様はいると思う人にとってはいるのだし，いないと思う人にとってはいない。私自身は神様とは一線を画したい。要するに，トイレ掃除に限らず，すべては「気の持ちよう」である。「運氣」とは文字通り「気持ちの運び方」だったのだ。

*

追記：この文章を書くきっかけになったのは『ホステス心得帖』（北新地社交料飲協会）という小冊子です。とても薄い冊子で，無料ダウンロードで手に入ります。上田仮説サークル例会で渡辺規夫さんから教えてもらいました。

この冊子の「ホステスはお客さんの名前を一度で覚えること」という趣旨の記述はとても示唆に富んでいます。これを学校で具現化するとどうなるかという目的意識を持って取り組んだ結果の中間報告です。ここに記して渡辺規夫さんをはじめとする上田仮説サークルのメンバーに，また，篠ノ井高校の生徒たちに感謝します。この冊子には他にも学校で応用できる「価値ある記述」が満載，一読をお奨めします。（『ホステス心得帖』<http://www.kita-shinch.org/new/hostess.html>）

（『ホステス心得帖』ダウンロードしました。手軽に読めて，読み返すごとに何か気づかされるところがあります。以前渡辺さんがサークルで紹介してくれました。冊子が欲しい方は遠藤まで。

エンドリ

④ 電光石花の チョークアート 柳沢克央さん（6 ペ）

簡単なチョークアートの描き方の紹介。

研究会ニュース、『たのしい授業 2017.4 No.461』，信濃毎日新聞 2017.4.7 の記事に紹介されています。

柳沢さんは教師生活初の担任になったとき，先輩教師が正面黒板の「入学おめでとう」

と華やかに書いてくれてあったことに感心。現在初めて学級担任になる若い先生の「指導教諭」を務めていて、「若い先生のクラスの入学式には、あの時、先輩教師たちからもらった〈気持ち〉を伝えることができればいいな」と考えるように。そんなある日、榎（えい）出版社のサイトで『チョークアート』という本の紹介記事に出会い、さらに製作過程を紹介するサイトでプロジェクターで投影する方法を発見。自分で試作して同僚先生方や生徒さんに見てもらい「これはすばらしい！」「いいですね！」と絶賛され、十分な手応えを感じたそうです。ただし、生徒さんは「これはオレが描いたんだよ」と言っても「ウソだー」と言って信じてくれなかったとのこと。

3年の担任さんに「卒業式の日にはチョークアートを描かせてくれませんか」と遠慮がちにお願いしてみると、「いいですね～。ぜひ描いてください」と快諾してくれ、教室を華やかに彩ることができたそうです。

やってみようと思えば、ほぼ誰でもチョークアートを簡単に描くことができます。私のように絵心があまりない（と思っている）人でも、全行程1時間ほどで描けてしまいます。しかも、その出来映えには目を丸くするほどです。良かったらあなたもトライしてみませんか。

<手順> ①チョークアートの原画を、デジカメで撮影し、パソコンに取り込む。自作原画の場合、白黒反転するといいい。

②取り込んだ原画をプロジェクターで黒板に投影する

③好みの色のチョークで模様や文字をなぞって仕上げる。

（読ませていただきとても手軽にできそうです。研究会ニュースで読んで、仮説会員の方から柳沢さんに作品の写真を送って来てくれたとのこと。入学式、卒業式にはうってつけ。エンドウ）

⑤ 紹介： 牧衷略伝—その生きた時代 柳沢克央さん（11ページ）

仮説実験授業 50年史稿（第2部）8（重弘忠晴 仮説実験授業 50年史編纂室長）より紹介。

2年生の3講座で、テストが終わった後の授業で「君たちと同じ年頃の人の話」として生徒に紹介し、読んでもらったとのこと。40分程度で、後日感想を書いてもらった。

<内容> 少年時代 海軍兵学校入校 海軍兵学での体験 海軍兵学校の英語教育 井上成美の陸軍批判 高校から大学へ

海軍兵学校に入学（16歳、4ヶ月の学校生活）なかなか含蓄のあるものだった。その一つは言われたことを言われたとおりにやっていることの気楽さ。「反皇国少年魂」を捨てず周囲との心理的葛藤に明け暮れていた日々と比較すれば、肉体的にハードな訓練などとるに足らない。それに加えて教育の徹底した結果主義が一層心を軽くしてくれた。何かできない課題（たいていは体育的課題）があると、「こんなこともできないようじゃ、貴様の兵隊死ぬぞ」と叱られる。

「お前のことなんかどうでもいい。お前の指揮下にはいる兵隊たちの命はどうする気か」というのだから、これはこたえる。そこで頑張ることができるようになると「ヨシ」といわれるだけ。皇国主義教育についてまわった根性主義の「みろ、やればできるじやないか」（それなのにできなかったのは根性が足らんからだ）というお説教は一切なし。まして、忠義の心が足らんなどという皇国思想の押しつけはない。この「清々しさ」が反皇国少年には棲み易かった凄み易かったのかもしれない。

中でも、英語の授業中、つい派手に居眠りをしていたのを教官にみつかったとき「これは顔がカボチャになるな」と覚悟をしたら、教官は、

「ねむいときに無理やり起きていようとすくらしいパカなことはない。ねむるまい、ということだけに精神が集中して授業のことなど何一つ頭にのこらない。10分経ったら起こしてやるから10分間寝ろ」といわれたとき、入校時肺間リンパ腺肥大の診断を受けていて、心底疲れきっていたので、欲も得もなく言われた通り眠ってしまった。10分経ったら起こされ、何事もなかったように授業が続けられた。これは子供のときからの被教育体験の中では画期的なできごと、まさにカルチャーショックだった。

こんな経験をしたが入校3週間で肋膜炎で入院。以後敗戦まで各地での病院暮らし。正味の兵学校生活は3週間で終わったが、このときの被教育体験はぼくの教育観に大きな影響をもった。

(熱心なクリスチャンで、自由主義的な指向の両親。小学校6年から中学3年まで模型飛行機づくりに熱中。軍需工場に動員。牧さんの海軍兵学校時代前後のことが何となくイメージできました。牧さんにとって、戦争体験の影響はとても大きかったのだと思います。 エドワ)

⑥ <今月の本紹介16>

増田伸夫さん(56歳)

要約：<イエスの復活信仰>がキリスト教の出発点

問題の予想を立てながら読む本の紹介。問題が12と質問が24あります。

やまがてつお
★山我哲雄著 『キリスト教入門』(岩波ジュニア新書)
(2014年12月19日第1刷発 2016年3月4日第4刷発行)
定価：本体860円(税別)

著者は北星学園大学経済学部教授(専攻：聖書学、宗教学、キリスト教)
著書に『一神教の起源』(筑摩書房)、『聖書時代史 旧約篇』(岩波現代文庫)、『聖書』(PHP研究所)など多数

*

前回読んだ山我哲雄『一神教の起源』は、古代イスラエル人の信仰の歴史を通じ、<『旧約聖書』の神ヤハウェがいかにして生まれたか>を解き明かしてくれた。すると次は、<ユダヤ教を母体として生まれたというキリスト教はどのように成立・発展したの

か>が気になってくる。本書は非キリスト教徒を主なる読者と位置づけ、キリスト教が世界宗教として成立・発展していった歴史を、(今回も同じ著者である)山我さんがわかりやすく語ってくれている。

そこで、いつものように設問方式で本書の紹介を試みたい。問題の後にすぐに答えが続くので、答えが見えないように工夫しながら、しばらくおつきあい下さい。

<ul style="list-style-type: none"> ◇ユダヤ教とキリスト教 ◇キリスト教がユダヤ教から受け継いだもの／受け継がなかったもの ◇イエスの生涯と4つの福音書 ◇歴史的イエス研究と「ナザレのイエス」 ◇洗礼者ヨハネの活動(黙示的終末論を説く) ◇ガリラヤでの宣教活動(一躍、一般民衆の人気者に) ◇「神の国(神の王的支配)」の宣教(神の国≠天国) ◇「罪人」(=律法を遵守できない者) ◇「神への愛」と「隣人への愛」(=律法の根本精神) ◇十二弟子団の形成～エルサレム^{のぼ}上り ◇最後の晩餐～ゲツセマネの祈り(命乞い)～イエス逮捕 ◇ユダヤ教の宗教裁判とローマ帝国の政治裁判 ◇イエスの死(深い絶望と神への抗議の中での死) ◇復活信仰の成立(→キリスト教信仰の真の出発点) ◇復活信仰がもたらした<イエスの死の新しい理解> ◇罪観念/メシア観念の変化(←イエスの死の新理解) ◇キリスト再臨の期待(復活→昇天→再臨→最後の審判) ◇エルサレム初代教会(指導部は十二使徒) ◇エルサレム協会の分裂(ヘブライオイトとヘレニスタイ) ◇ヘブライ人/イスラエル人/ユダヤ人 ◇パウロ(母語はギリシア語)の回心と伝道活動 ◇パウロの異邦人教会と世界宗教 ◇迫害から公認へ(教義論争と「三位一体論」) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇キリスト教の国教化とローマ帝国の東西分裂と東西教会 ◇西ローマ帝国滅亡と西方教会 ◇西ヨーロッパにおける王権と教皇権(教皇皇帝主義) ◇東ローマ帝国:皇帝教皇主義(皇帝は教会の上に君臨) ◇聖像禁止令(←イスラム教の影響)で東西協会対立 ◇7つの秘跡(サクラメント:救いのために必要な儀礼) ◇3つの来世(ローマ・カトリック教会独特の教義) ◇聖母マリア崇敬と守護聖人崇敬 ◇カトリックの大変身(第二バチカン公会議:現代化) ◇日本とローマ・カトリック教会 ◇東方正教会(国ごとに独立した諸教会の連合) ◇東方正教会, 20世紀の苦難 ◇プロテスタント教会(宗教改革でカトリックから分離) ◇カトリック教会の動揺/混乱と腐敗(宗教改革の背景) ◇修道士ルターの回心 ◇95箇条の提題(宗教改革の発端) ◇宗教改革の三大原理(プロテスタント教会の教義) ◇カルヴァンの宗教改革(バーゼル～ジュネーブ) ◇長老制(画期的な教会制度) ◇予定説と資本主義の成立(勤勉+質素+資本主義?) ◇英国教会の中道主義(プロテスタント+カトリック) ◇世界各地の聖公会(旧英国植民地の英国系教会) ◇ピューリタン諸派(英国の宗教改革徹底推進派) ◇ピューリタン革命(=プロテスタント同士の争い)
--	---

<あとがき>

- ①一言で言えば
- ②本書のあらすじ(キリスト教の成立と発展)
- ③<矛盾の中に真理あり!>などの法則性?
- ④新たな問題意識(宗教戦争とその終結)

*

本書と同じ著者山我哲雄さんの『一神教の起源』を前回読んで、ユダヤ教や『旧約聖書』についてある程度の理解があったせいか、本書はとてもわかりやすいと感じた。

巻末にはわずか4ページであるが「索引」がついていて、とても便利であった。「索引」の重要性を再確認できた。

本書は<キリスト教の入門書>とされているが、内容は豊富で読み応えあり。<キリスト教が一神教のユダヤ教からどのように分離独立していったのか>という私の問題意識に十分に答えてくれる良書であった。ご一読をお勧めする。 (増田)

(キリスト教がどのような経過を経て成立するにいったか、興味のある方にはとても良い本のような感じです。56ページにおよぶ内容で、何回か読み直してみたいです。 エドワ)

⑦ 『キリスト教入門』(キリスト教の成立と発展) 年図 増田伸夫さん (1ペ)

山我哲雄『キリスト教入門』をもとに増田さんが作成した年図の紹介。

ヤハウェ唯一神教成立, キリスト教成立, イスラム教成立, ローマカトリック, ギリシア正教, プロテスタント教会の時代関係が一目でわかります。

⑧ 浅間のほとり千曲のふもと 北村秀夫さん (4ペ)

ついに復活!! 北村秀夫さんの「浅間のほとり千曲のふもと」です。

秀夫さんの随筆「浅間のほとり千曲のふもと」を楽しみに読まれていたサークル参加者も多かったと思いますが、ここ数年お休みしていました。担任をされていたクラスの生徒さんが3月に卒業、これがきっかけ(?)で久しぶりに発表していただきました。今後とも楽しみです。

<プラチナ…結婚指輪をガスバーナーであぶる> 卒業式での答辞で、生徒会長さんが「担任の先生方の思い出」として「結婚指輪をはずしてガスバーナーで真っ赤にしてみせてくれた」話を紹介。その後の2年生の特編授業で見せないわけにいかないことに。秀夫さんの口上に生徒さんの乗りも良く、たのしい授業になったようです。

<生きることが恩返し(卒業式あと、教室での話の原稿)> 生徒さんが卒業していく日に教室で、「…どんな道を選んでも『これで良かった』と思える生き方をしてもらえたら、それが正解。なによりの恩返しだと思います…」。机の上には担任からの記念品 CO₂ の分子模型のストラップ…。生徒さんからは花束と写真入りトレーナーと夫婦箸のプレゼントが。

(しばらくお休みになっていた「浅間のほとり千曲ふもと」。今後も発表をよろしく願います。 エドワ)

あとがき 今年は例年より桜の開花が遅かったようですが、4月の3週あたりをピークにもう散り始めているようです。(北信では。)



今年も職場も8年目になり、少し気を引き締めていこうと決意していましたが、例年と変わらずの日々が続いています。授業では、3年生の選択物理で、名南製作所に関する新聞記事(以前、研究会ニュースと一緒に送られたきた朝日新聞の記事1980.6.29)を読んでもらい、感想を書いてもらいました。サークルで紹介しようと思っ
ていましたがまとめるのが間に合わず次回に紹介したいと思います。柳沢さんの「トイレ掃除は運気をあげるか」で紹介されている「ホステス心得帖ーおもてなしの条件ー」、ダウンロードして読み直してみました。仕事に対する意識について、人間関係をうまくやっていく秘訣など学ぶことが多い内容で、多くの方に一読をお勧めです。印刷するときページ割りが少し苦勞しますがうまく冊子にすることができましたので、ご希望があれば冊子をご用意できます。(エンドウ)

★ 今後の予定 ★

5月27日(土)

6月24日(土)

7月22日(土)